

管理番号 28

## 研究内容の説明文

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| 献血者説明用課題名※<br>(括弧内は公募申請課題名) | 糖鎖を認識するタンパク質であるガレクチン9に血小板凝集の<br>阻害作用があるか？<br>(血小板凝集活性に対する Gal-9 の作用とその分子標的の同定 ) |
| 研究期間 (西暦)                   | 2021 年度 ~ 2023 年度   |
| 研究機関名                       | 東北医科薬科大学医学部 医学教育推進センター  |
| 研究責任者職氏名                    | 准教授 有川智博  |

※理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

## 研究の説明

- 1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等  
糖鎖は核酸やタンパク質に続く第三の生命鎖と呼ばれ、糖鎖とその認識によるタンパク質の機能修飾及び細胞制御は生命現象を理解する上で無視できない重要な概念の一つとして注目を浴びています。今回の研究では、提供いただいた血小板を用いて、糖鎖を認識するタンパク質であるガレクチン9が血小板凝集を阻害できるかどうかについて検証します。この研究課題で得られる結果により、将来的に血小板凝集に起因する病気の治療への応用が期待できます。
- 2 使用する献血血液の種類・情報の項目  
献血血液の種類：血小板（規格外）  
献血血液の情報：該当なし
- 3 献血血液を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名  
共同研究機関はありません。
- 4 研究方法《献血血液の具体的な使用目的・使用方法含む》  
献血血液のヒト遺伝子解析：■行いません。 □行います。  
《研究方法》  
血小板を産生する巨核球は糖鎖認識タンパク質の一種であるガレクチン9を発現し、さらに血小板そのものにもガレクチン9タンパク質が含まれることがわかりました。このガレクチン9を欠損するマウスでは血小板凝集活性が上昇することもわかっているため、ご提供いただく血小板と組換えガレクチン9タンパク質を用いて凝集阻害作用を確認します。
- 5 献血血液の使用への同意の撤回について  
研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回が出来ます。
- 6 上記5を受け付ける方法  
下記の間い合わせ先にご連絡ください。

|      |         |
|------|---------|
| 受付番号 | R030037 |
|------|---------|

本研究に関する問い合わせ先

|      |                          |
|------|--------------------------|
| 所属   | 東北医科薬科大学医学部 医学教育推進センター   |
| 担当者  | 有川智博                     |
| 電話   | 022-727-0126             |
| Mail | arikawa@tohoku-mpu.ac.jp |

|   |
|---|
| 本書は日本赤十字社ホームページで公開され、必要に応じ献血者への説明資料として使用されます。 |
|---|